

令和元年度 北海道地方発明表彰「日本弁理士会会長賞」受賞

10月29日（火）に帯広市のホテル日航ノースランド帯広で「令和元年度 北海道地方発明表彰式」が行われ、当場内水面資源部の水野 伸也 研究主幹、宮本 真人 主任主査、さけます資源部の畑山 誠 研究主幹および道総研フェロー（元 内水面資源部長） 小出 展久氏が日本弁理士会会長賞を受賞しました。

（共同受賞者および本発明の実施功績賞受賞者は次の URL をご参照下さい。

http://www.koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/R1/jusho_hokkaido/detail/benrishi.html）

この発明表彰は、各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として大正10年に開始されたもので、全国を8地方に分け、実施されている優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者・研究開発者や実施化に尽力した権利企業・機関などの功績を称え顕彰するものです。

今回の受賞は、平成30年に特許を取得した「寄生虫に強いサケを育てるハーブ添加飼料（特許第6351016号 放流用サケ稚魚の感染症予防剤）」の発明が対象となりました。

サケのふ化放流事業では、飼育中のサケ稚魚に寄生虫病の一種である原虫病が発生し、甚大な死亡被害を引き起こします。発症後の対策として、稚魚に水浴処理が行われてきましたが、作業の際に過大な労力を要することが課題でした。そこで飼料への最適なハーブ添加方法を発明し、本発明を製品化しました。

本発明技術を用いて50日間の稚魚飼育試験を行ったところ、原虫病の発症による稚魚の死亡を抑制することに成功し、課題となっていた水浴作業の負担軽減に寄与しました。



※道総研の受賞者を代表して表彰状を受け取る当场 水野 伸也 研究主幹



※表彰式に出席した受賞者
中央：水野 伸也 研究主幹
左：実施功績賞を受賞した長岡実業（株）の岩田 博 常務取締役
右：共同受賞者の長岡実業（株）多田 昭一 課長（右）